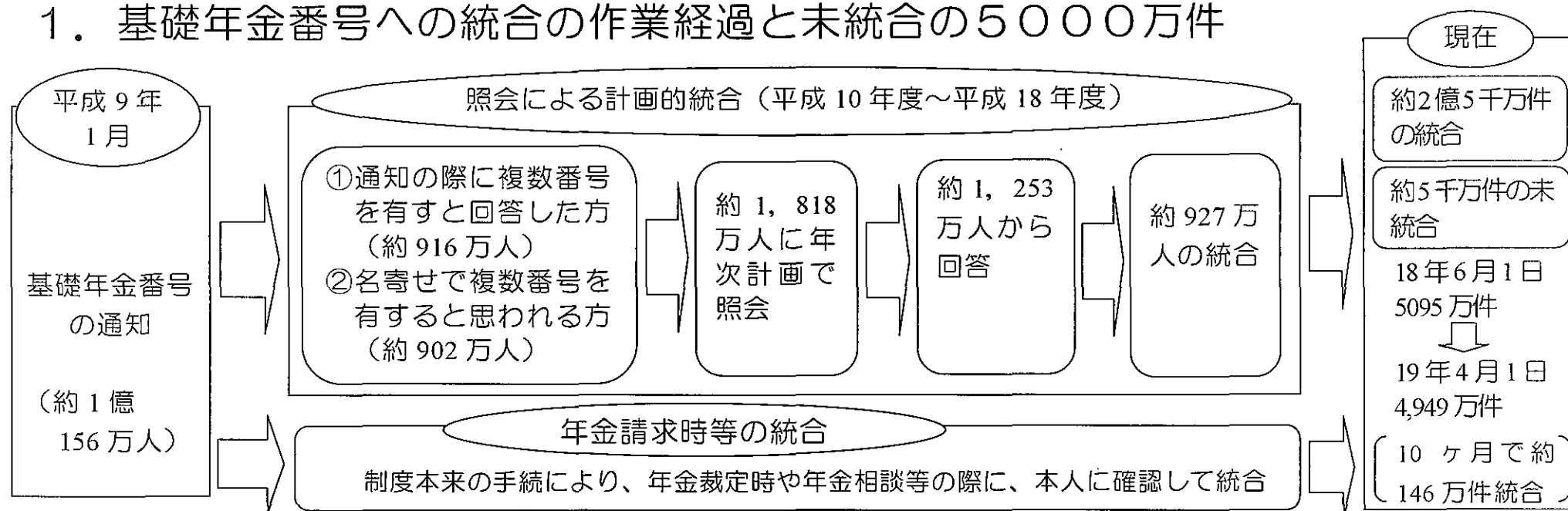


## Ⅱ 基礎年金番号に未統合の5000万件の記録について

### 1. 基礎年金番号への統合の作業経過と未統合の5000万件



平成9年1月に基礎年金番号制度を導入するに当たって、平成8年12月以前に1人が複数持っていた年金手帳記号番号を、以下のように統合してきたが、現時点で5000万件が未統合。

#### (1) 照会による計画的統合

- ① 基礎年金番号を通知した際に照会した複数の年金手帳記号番号を有する方からの回答 (約916万人) と、
- ② 申し出のなかった方について名寄せ (氏名、性別、生年月日の3項目の一致) による抽出 (約902万人) の合計約1,818万人に対し、計画的に照会 (平成10年度～平成18年度) し、約1,253万人の方から回答をいただき、約927万人について統合が終了したが、回答のない方が多く、未統合のまま残っている。

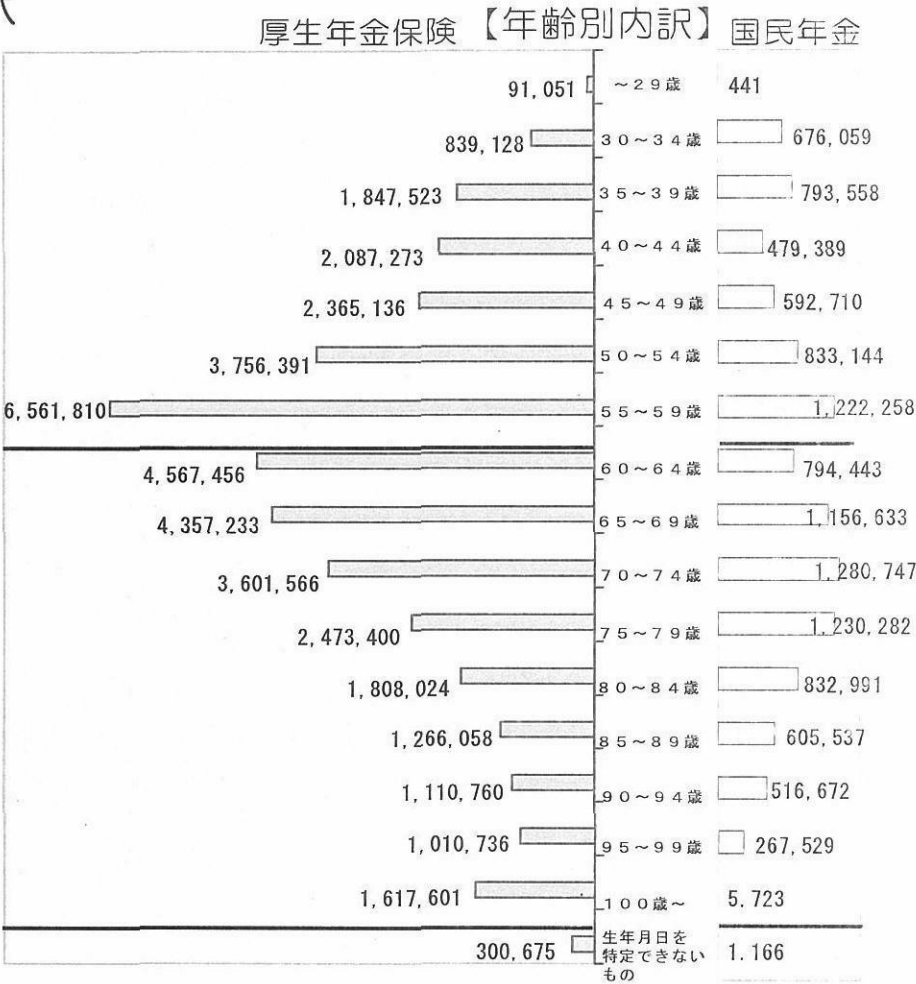
#### (2) 年金請求時等の統合

- 年金の請求時期に近い方については、制度本来の手続に従い、年金の請求時や年金相談等の際に、本人に確認の上、基礎年金番号へ統合してきた。

2. 基礎年金番号に未統合の記録の年齢別の内訳

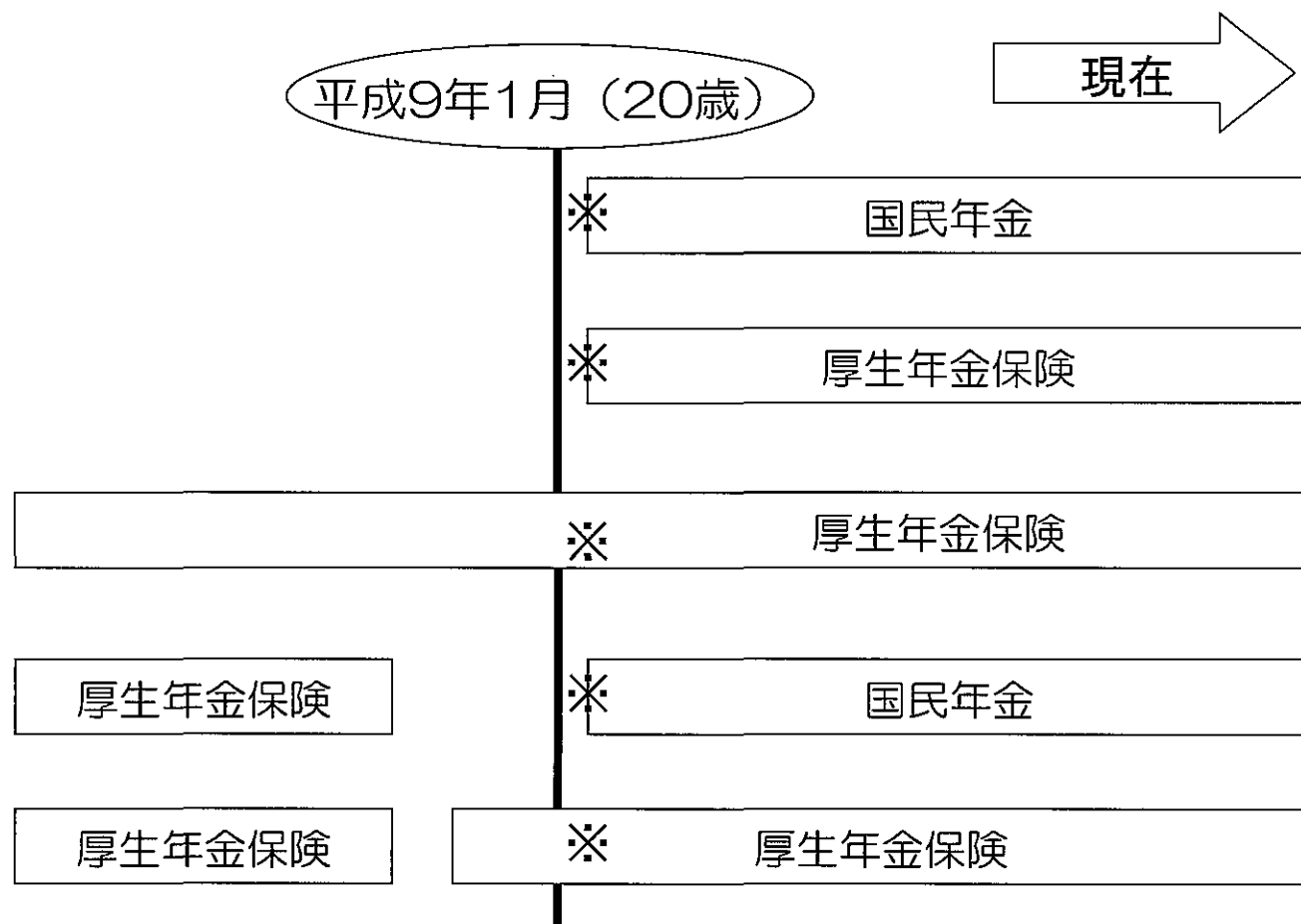
(平成18年6月1日現在)

|        | 厚生年金保険<br>(船員保険を含む) | 国民年金               | 計                  |
|--------|---------------------|--------------------|--------------------|
| 60歳未満  | 1 755万件<br>(34.4%)  | 460万件<br>(9.0%)    | 2 215万件<br>(43.5%) |
| 30歳未満  | 9.1万件<br>(0.2%)     | 441件<br>(0.0%)     | 9.1万件<br>(0.2%)    |
| 60歳以上  | 2 181万件<br>(42.8%)  | 669万件<br>(13.1%)   | 2 850万件<br>(55.9%) |
| 生年月日不明 | 30万件<br>(0.6%)      | 1 166件<br>(0.0%)   | 約30万件<br>(0.6%)    |
| 計      | 3 966万件<br>(77.8%)  | 1 129万件<br>(22.2%) | 5 095万件<br>(100%)  |



- 5000万件は記録の件数であり、人数ではない。また、お亡くなりになった方の記録もそのまま残っている。（例えば100歳以上人口は、全国で2.5万人（17年国勢調査）であるのに対し162万件の記録）
- 転職で適用関係が変わる「厚生年金」が8割を占める。なお、一貫して国民年金に加入している場合など、制度が変わらない方には、関係しない。

(参考) 5000万件の記録と職歴との関係



- 平成9年1月の基礎年金番号導入後に20歳となった方で、
1. 同月前に働いたことがない方には、該当がない。
  2. 同月前に働いたことがある方のうち、
    - 2-1 その時まで同じ事業所で働き続けた方には、該当がない。
    - 2-2 その時までには仕事を辞めた方には、該当する場合がある。

※は、基礎年金番号の付番時点を指す。